

寺報

No.698

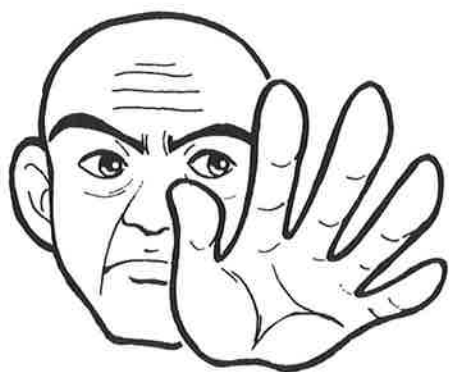
令和7年10月

蓮華寺
発行

御聖訓

苦あれば楽あり、楽あれば苦あり、
人生はあざなえる縄の如し。

『十王讃歎鈔』
じゅうおうさんだんしやう



(解説)

お寺に相談に来た若者が、新興宗教の人に「もしあなたが欲しい物があつたら、このご本尊に向って拝めば、必ず手に入るよ」といわれ勧誘されたそうです。

まさに、何でも「意の如く」になるという事です。しかし、日蓮大聖人のいう信仰とは、欲を以つて物を安易に得る事ではなく、我々がこの世でいかにしてお題目のお力を借り、生きていくべきかという事を教えているのです。

日蓮大聖人も布教の為には、数々のご法難や苦難を受けられ、中々思うようにはいきませんでした。

しかし、その苦を法華経を通した事で体験が出来、逆に苦を受ける事も喜ばしいかぎりであるとして、更にいつそうの信仰心を深めていったのでした。

我々もこの人生の中では、仕事・家庭・病気また人間関係などで、さまざまな苦しみを抱えているでしょう。

でも、その苦しみから逃げる事なく、それをしっかりと受け止め、法華経・お題目の信仰を持つて乗り越えた時こそ、そこに本当の樂を捕らえられる事が出来、また喜びが現れるのです。実行あるのみです。

御会式

十月二十六日(日)

午後一時より



※法要終了後、ご法話あり

全国で好評の『野
出上人』が九年ぶ
りにお話をします。

* 本年は、第七百四十四回目のご法事に当ります。

檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖
人様へご報恩の誠を尽しましょう。

* お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に
佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読み
ますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。

* 先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩
謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。

* お供物も受付けています。

* 法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

『御会式』に参拝しよう

『御会式』は毎年執り行われます日蓮大聖人のご命
日忌法要でありまして、皆様の家庭でいうご法事の事
をいいます。

皆様はご自分の家の法事はしつかり行いますが、その
基となります日蓮大聖人のご法事となりますと、法要
に参列する方は多いといえませんが、

しかし、皆様のご先祖や仏様は、日蓮大聖人の唱えら
れましたお題目によつて成仏されているという事を忘
れてはいけません。

もし日蓮大聖人がお出ででなかったら、当然お題目を
唱える者もなく、ご先祖や仏様も成仏出来ず、また皆
様をお救いするご祈祷や霊断やお守りも、一切存在し
なかつたわけです。

皆様も、今一度『ご報恩』というものを考えてみては
いかがでしょうか。

どうか、この大事な『御会式』の法要には、必ず参拝
し、日蓮大聖人様にご焼香し、法華経・お題目を唱え
て戴きたいと思ひます。

「御会式」とは

弘安五年(一二八二)十月十三日の午前八時、数々
のご法難にもめげず、我々に法華経・お題目の信仰を
教えてくれました日蓮大聖人は、東京の池上の地で
六十一年のご生涯をもって御入滅されました。

そして翌十四日はご葬儀、十五日には池上で荼毘(火
葬)に付され、日蓮大聖人の「いづくにて死に候とも
墓をば身延沢にせさせ候べく候」のご遺命により、お
骨は百ヶ日忌の日に身延山へ納骨されました。

これ以来、毎年日蓮大聖人のご命日忌には、弟子や信
者達が法要を営み、ご報恩の誠を捧げてきました。
そのご命日忌に行われます法要を『御会式』といいま
す。

本来は、仏教各宗派の読経・説法の集まりをいう『法
会の儀式』を『会式』といい、それに敬語の「御」を
付け『御会式』としたのであります。

つまり、昔は特に日蓮宗に限って用いられた言葉では
なかったのですが、日蓮大聖人の数々の偉業、偉大さ
またご人徳により、日蓮大聖人の『御会式』の法要だ

けが有名になり、他の宗派のものは影をひそめてしま
い、「御会式」といえば日蓮大聖人の御命日である」と
いわれるまでになったのです。

特に亡くなられた地に建立されました、東京池上【本
門寺】の『御会式』は有名で、前日のお逮夜に大きな
万灯という花飾りをかつき、笛で調子を取りカネ・太
鼓を叩く万灯行列が出ます。

これには交通規制がかかる程の盛況ぶりとなります。
なぜならこのお逮夜には、毎年全国より青森市の人口
を越える程の参詣者が集まるからです。

ですから、近隣の他宗の方などは、この余りの賑やか
さに、これが日蓮大聖人のご法事とは知らないで、逆
にお祝ごとだと思っている人達も沢山いるそうです。
同様に、この青森では日蓮宗の教えを広めている我々
も、毎年変わる事なく、日蓮大聖人への感謝と、ご報
恩の誠を尽くして、この『御会式』の法要を続けてい
く事が大切なのではないのでしょうか。

なぜなら、日蓮大聖人の唱えられた『南無妙法蓮華経』
のお題目によつて、我々もまたご先祖も救われている
からです。

檀信徒研修会のお知らせ

☆十月十八日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂「イス席です」

持参品…聖典(事務所)・数珠・太鼓(所有者の者)

*月一度の修行ですので、この機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

『提灯』の募集!

当山で『御会式』『鬼子母神大祭』『お正月』に下げます『提灯』(トロー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度のみ一万円となります。

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

一部・・・五〇〇円

◎令和八年度「暦」

一部・・・一五〇円

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

霊断と『霊』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千円です】

必ずご予約をお願いします。

☎776-5840

竜ノ口御法難会

十月十三日(月)

午後一時より

於…大本堂



*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコモチですが、秋はオハギ(お萩)・春はボタモチ(牡丹餅)といわれています。

*お供物も受け付けます。

④『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

『位牌壇』を持ちましょう

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めず仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。(④管理費は変わります)

【三席】から【特席】にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来て助かります。

◎詳細は事務所まで!

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』のご祈祷を行っております。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・令和元年（平成三十一年）生れの女児

◎五歳・令和三年生れの男児

◎三歳・令和五年生れの女児

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗の特別のご祈祷をお受け下さい。

時間は約二十五分くらいです。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

※用意する物・御神酒一升（ご本人の名前を書く）



『靈神符』を持ちましょう！

最近思いもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『靈神符』（お守り）を肌身離さずお持ちになりますようお願いいたします。



【二体・百八十円】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

『盛運祈願会』に

参拝しましょう！

毎月ついたちの「盛運祈願会」に参拝し、自らが懺悔（反省）し祈願をして、『靈神符』（毎月のお守り）を戴くようお願い致します。

十月の行事

一 日（水）『盛運祈願会』

午後一時より

・毎月のお守り【靈神符】の交換の日です。

・お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。

・檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十三日（月）『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

・お経
如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
如来寿量品第十六（真読・漢字読み）

十三日（月）『竜ノ口御法難会』 午後一時より

十八日（土）『檀信徒研修会』 午後七時より

二十二日（水）甲子『大黒様の日』 朝のお勤め中

二十六日（日）『御会式』 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

二十三日（木）『御会式』の準備・・・午前九時より

・一般檀信徒の皆様・教宣部男女
*『御会式』の際、大本堂に飾る桜の花は、毎年教宣部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。

どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様へのご報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

*教宣部男性は大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の準備になります。

二十六日（日）『御会式』のお手伝い

・教宣部男女・・・午前十時より

二十七日（月）『御会式』の後片付け

・教宣部男女・・・午前十時より

*大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の後片付け
②『御会式』は大事事です。準備、後片付け等が大変です。

沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。教宣部員以外の檀信徒の方も歓迎致します。どうぞ、時間までにお出で下さい。

教宣部長・杉淵昌三

御会式

*法 要

十月二十六日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

講 師：日蓮宗霊断師会・教学研究部長
福岡県・妙覚寺住職

野出 修輝 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香をしましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養
【ふじゅもん諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。